
何でも屋 『THE SLOW STAR』

走馬灯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

何でも屋 『THE SLOW STAR』

【コード】

N0229J

【作者名】

走馬灯

【あらすじ】

何でも屋 『THE SLOW STAR』

それは依頼さえすれば何でもしてくれるお店 『THE SLOW STAR』

そこにはダメ人間、浅田零次。

美人双子助手の犬塚舞、犬塚藍と共に色々な事件を解決していく

その事件は、あまりにバカらしい仕事ばかりで……。

ドタバタなものにまったりな日常の始まり!!

第0章 動物に服を着せるが、実は動物は裸が好き

もしも、

もしも流れ星がゆっくりだったら……

願い事を二回言えるんじゃないか…？

そうならば……

願い事が叶え放題だ！！

ここは、そんな店！！

『THE SLOW STAR』

誰だって願い事が叶う場所！！

「ええええええ！！あの仕事やっぱりうけたんですかあああ！！」

昼下がりの休日、少女の大声が「THE SLOW STAR」に響きわたった。

「うっせーな。しょうがねえだろ金ねえんだよ」

何でも屋の室長『浅田 零次』は、通帳の残高を見せながら寝起きの目を擦った。

「でもでも！！探せば他にもお仕事ありますよ！！ね？ね？ほかに探しましょうよお」

両手を振りながら懸命に零次を説得している少女。名前は『犬塚 舞』

人懐っこい笑顔の美少女。

腰まであるツヤツヤな金髪のツインテールがトレードマークでグラビアアイドル顔負けのプロポーションの持ち主。

「舞、気持は分かるけど、このまま仕事しないとご飯食べれなくなっちゃうよ？」

「うぐっ…でもでもえ」

零次の机にコーヒーを置きながら舞をなだめるのは『犬塚 藍』
舞の双子の妹。藍は舞とは対照に大人しくいつも微笑を浮かべている美少女。

腰まだ伸びたストレートの銀髪がトレードマークで舞程ではないが、なかなかのプロポーションの持ち主。

この二人が零次の下で働く、自称『美人双子助手』だ。

「藍の言う通り。昔から言うたろ？働かず者食つべからずってよ」
「ですね」

藍はニツコリと笑って零次の左斜め後ろに立った。

「さて、お仕事しますかぁ!!」

零次はニヤリと笑って立ちあがった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0229j/>

何でも屋 『THE SLOW STAR』

2010年10月9日11時06分発行